

いつまでも健やかに・・・

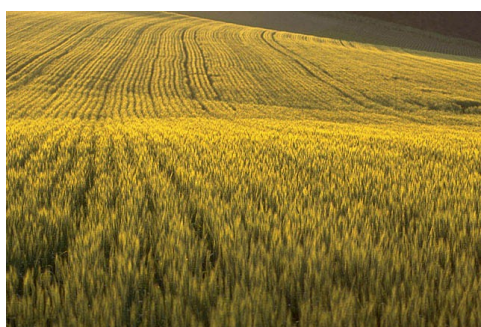
——私たちの願いです。

医療法人玉昌会 加治木温泉病院

発行 平成26年10月1日

広報誌 第35号

すこやかか加温



朝夕冷え込んでまいりました。
ご自愛くださいませ。



目次

巻頭言（薬局長 中村真之）	2
トピックス（外科開設）	3
新入職医師の紹介	4
新入職員紹介	5
トピックス・行事	6～7
院内研修	8
葛藤について（臨床心理室）	9
彩り良く野菜を食べて生活習慣病を予防しましょう！（栄養室）	10
軟膏の使い方（薬局）	11
正しい食事姿勢について （総合リハビリテーションセンター）	12
訪問活動について （地域医療連携センター）	13
診療報酬実績（平成26年度上半期）	14
個人情報保護方針 等	15
氷山の一角・編集後記	16

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

低：全てに謙虚な気持ちで接する
賞：お互いを思いやり敬意を払う
感：全てに感謝する
微：微笑みを添えて態度で示す

みなさんもお存じのとおり、今、鹿児島市で病院の新築移転、機能拡大が進んでいます。これは団塊世代が75歳に到達する2025年に向けた医療体制整備の柱となる『地域医療ビジョン』制定に向けた取り組みでもあります。そして今年10月からは、制定の要となる病床機能報告制度が始まります。病床機能報告制度とは、各医療機関が病棟単位で『高度急性期医療』『急性期医療』『回復期機能』『慢性期機能』について現状と今後の方向を都道府県へ報告する制度です。

当院は今まで『回復期機能』と『慢性期機能』に特化した取り組みを行ってきました。そして『回復期機能』については、回復期リハ基準1取得、『慢性期医療』については地域包括ケア病棟1の取得をめざし取り組んでいます。また10月より外科を標榜することになり今後『急性期医療』についても少しずつ取り組んでいきます。

「病院が生き残るためには、目指す機能を明確に示すことが求められる」と言われています。始良・霧島地域の医療需要は、鹿児島県の中で鹿児島市を除くほとんどの地域が減少していく中、2015年から25年にかけて2%増加（内75歳以上の医療需要は12%増加）介護需要は11%増加するというデータがあります。当院は以前から地域包括ケアシステムを念頭に、病院から在宅までのシームレスなシステム構築に取り組んでいます。これからの始良・霧島地区の医療を守り、住民が安心して暮らしていく街を作っていくためにも、地域とさらなる連携を図り、地域に必要な医療を提供できる体制づくりが必要だと考えます。

私は今、2014年度診療報酬改定のキーワードの1つである「入院患者の在宅復帰の促進」に向けて、入院前から患者さま・ご家族の退院後の生活全体を視野に入れた入退院支援を強化するチーム医療・介護体制作りに取り組んでいます。私はチーム医療に一番必要なツールはコミュニケーションであると考えています。今はまだ病院の中で多職種連携がとれるように取り組んでいます。今後、病院という枠を超えて、地域のような大きな枠組みの中で、患者、家族、住民、病院、在宅サービス事業所、行政がコミュニケーションを通して連携がとれるようになれば、大きなチーム医療・介護体制ができると思います。そしてその中で各病院が報告し制定された病床でできる医療・介護を行うこと、それが地域包括ケアシステムの構築につながっていくと思います。これからも皆様方のご協力・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

加治木温泉病院 理念 基本方針

《理念》

法人の行動指針である（低賞感微）に沿った医療・サービスを提供して地域に貢献します。

《基本方針》

1. 患者さまの尊厳と権利を尊重した医療・介護を目指します。
2. 患者さまの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます。
3. 地域でのニーズに沿った医療を担い、入院から在宅までの一貫した医療、介護の提供を目指します。
4. 病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場作りに取り組みます。
5. 健診や保健指導により地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます。

トピックス

「外科・消化器外科」 を開設いたしました

当院では、平成26年10月1日より、外科・消化器外科 を新規開設致しました。

村田隆二 外科医長 を中心として、外来や入院での診療を行い、外科一般の幅広い疾患に対応できるよう努力して参ります。

これからも患者さまに、より利便性の高い医療を提供し、地域医療へ貢献いたします。

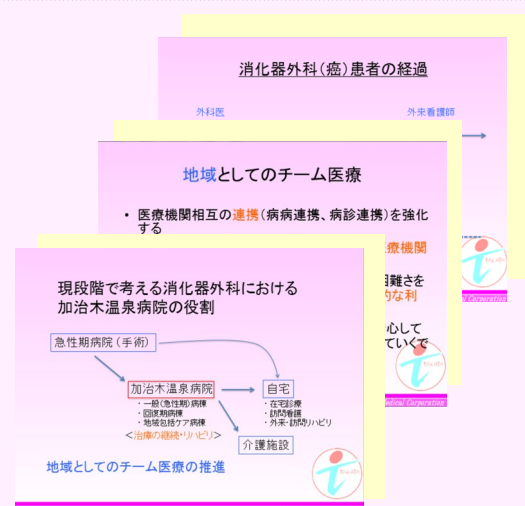


診療日	月曜・水曜・金曜
診療時間	午前 9:00～12:00 午後 2:00～5:30
診療科目	外科・消化器外科
担当医師	村田 隆二
資格・所属学会等	日本外科学会専門医・日本消化器内視鏡学会専門医 日本医師会認定産業医

◎外科研修

平成26年9月24日、村田外科医長の講師のもと、外科開設に伴う院内職員研修を行いました。

各部署より125名の職員が参加し、外科の基礎知識から外科のチーム医療について学びました。



新入職医師の紹介

平成26年7月1日より、新しい先生が入職いたしました。



耳鼻咽喉科・内科
石井 祐司 医師

資格：

- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医
- ・音声言語機能等判定医 ・産業医学ディプロマ
- ・補聴器適合判定医
- ・日本医師会 医療安全推進者
- ・福祉住環境コーディネーター2級
- ・日本耳鼻咽喉科学会認定 騒音性難聴担当医

一言：

大学や労災病院等にて耳鼻咽喉科医として勤務した他、産業医や救急・リハビリ・一般内科の経験もあります。親しみやすく声をかけやすいキャラクターなのが長所です。車と筋トレが趣味です。よろしくお願い致します。

患者さまの権利宣言

すべての人は、人格を尊重され健康に生きる権利を有しています。患者さまにおかれましては、健康を回復し、維持増進するために、医療スタッフの助言協力を得て、患者さまの選択のもとに、最善の医療を受ける事は人として基本的権利です。

【平等で良質な医療を受ける権利】

患者さまは本人の経済的社会的地位、年齢、性別、疾患の種類などにかかわらず平等で良質な医療を受ける権利があります。

【選択の自由の権利】

患者さまは担当医師および医療機関を選択し、または変更する権利があります。またいかなる時でも他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

【知る権利】

患者さまは、自らの状況（病名、病状、検査結果）について納得するまで十分に説明を受ける権利があります。

【自己決定権】

患者さまは納得できるまで説明を受けたのち、医療スタッフの提案する医療行為を自分で選択する、同意して受ける、あるいは拒否する権利があります。

【個人情報の保護】

患者さまは、全ての個人情報、プライバシーが守られる権利があります。

在宅復帰機能強化加算（60床）を取得しました

当院は平成26年9月1日より、2階南病棟（60床）が一定の在宅復帰率等の実績を有する病棟と評価され、在宅復帰機能強化加算の算定を承認されました。すでに承認されている2階東病棟（59床）と合わせて、119床が加算の対象となります。

また、回復期リハビリテーション病棟（3階南病棟：54床）と合わせた173床が、7：1看護基準を算定している高度急性期病院の在宅復帰率に算入される病床となります。

今後も地域の皆様のご期待に添えるよう、在宅復帰を支援する病院として精一杯の努力をして参ります。

※主な基準

在宅復帰率…50%以上・病床回転率…10%以上（30.4÷平均在院日数）

エコアクション21を受審しました

平成26年7月14日（月）にエコアクション21の中間審査を受けました。

エコアクション21とは全ての従業員が環境への取り組みを効果的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、取り組みを行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表するために環境省が策定した認証・登録制度です。審査では省エネや省資源、廃棄物削減などについての現状取り組みの把握、昨年1年間の実績などが評価されます。

昨年認定を頂き、この1年間節電やエコドライブなど二酸化炭素排出の削減、節水や廃棄物の削減など様々な環境に対する取り組みを行ってきました。

今回の中間審査では加治木温泉病院の取り組みとして、ナースステーション照明のLED化、龍門滝公園や通学路などの地域ボランティア清掃、電気やエアコンの消し忘れの記録を掲示板に貼りエコ意識を高めている事、などを高く評価して頂き無事に認定を更新することができました。

更に今年からは在宅事業部もエコアクション21の活動を始め、より一層環境に対する取り組みを充実させております。

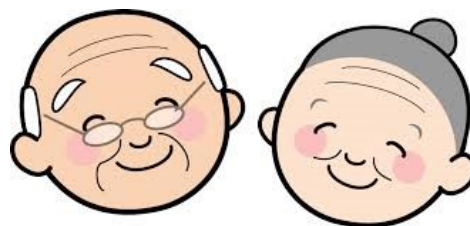
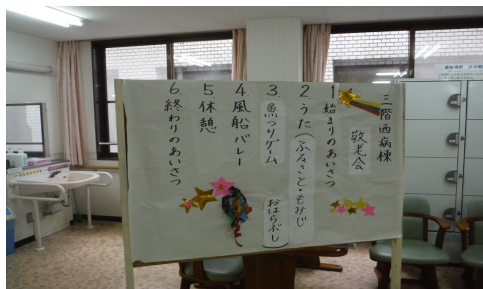
玉昌会は「いつまでも健やかに・・・私たちの願いです」の基本理念を柱に地域社会に医療サービスと福祉サービスを提供させて頂いていますが、今後も地域の皆さまと共により良い社会を築き上げていくために、企業活動においても地球環境を経営上の優先課題として取り組んでいきます。



行事

◎3階西病棟 敬老会

平成26年9月20日（土）、当院3階西病棟にて敬老会を行いました。当日は、魚釣りゲームや風船バレーを行い、入院患者さまやご家族共に楽しいひと時を過ごされました。



第4回始良地区地域連携NetWorks情報交換会

平成26年9月17日(水)、かごしま空港ホテルにて「第4回始良地区地域連携NetWorks情報交換会」を開催致しました。始良・霧島・伊佐地区より14医療機関と17介護保険事業所関係の計49名の方に参加いただき、法人関係者も含め総勢97名の参加となりました。

内容としては、懇親会や南九州病院MSW久永様より「がん相談支援センターのご紹介」、当院歯科の山内よしえ歯科科長より「加治木温泉病院の歯科の取り組みについて」の2題のプレゼンテーションを行ないました。

始良地区地域連携Net Works情報交換会は年に2回開催しており、次回は来年の2月の開催を予定しております。参加者の方々からは「もっと地域ネットワークを広げたい。」、「顔の見える連携は安心につながる」、「これからも始良地区の連携をもっと強くして欲しい。」といったご意見をいただいております。次回開催に向けて地域医療連携センター職員一丸となり、より一層充実した内容に取り組みたいと思います。



第56回 全日本病院学会 in 福岡

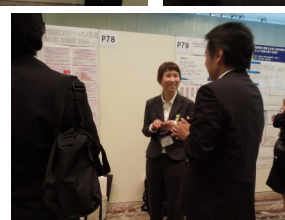
平成26年9月20、21日に行われた全日本病院学会in福岡へ当院より2名が参加し、口演の部・ポスター発表の部にて各1題ずつ発表しました。

◎口演

通所リハビリテーション利用中における転倒防止への取り組み～杖シールの有効性～
看護部介護職 中山陽平

◎ポスター発表

一般病棟における認知症患者に対するタクティールケア®の効果と課題
看護部看護職 安田あゆみ



院内研修

「ノーリフト～持ちあげない看護・抱えあげない介護～」

平成26年8月25日（月）、講師に日本ノーリフト協会理事長 保田淳子先生（看護師）をお招きし院内研修を開催しました。

皆様は「ノーリフト」をご存じでしょうか？簡単に言えばオーストラリアで広まっている、人力のみによる「押す、引く、持ちあげる、運ぶ」行為を禁止し、より安全な患者様へのケア提供を規定するものです。人力による力まかせの介助は、職員の腰痛を引き起こすのみならず、怖さ・痛さ・不快の刺激は患者様の筋緊張を高め関節拘縮や褥瘡などを起こすリスクを高めます。実際に人力のみの介助を禁止したオーストラリアでは「関節拘縮」のある方はほとんどいなかったそうです。移乗用リフト、体位変換時の摩擦を軽減する福祉用具（スライディングシート）、移乗を助けるトランスファーボード等、電動ベッドなど上手く活用していくことで介護する側、される側、双方ともに負担の少ない状態となりうるということを実技を交えて学びました。しかし福祉用具はあくまでも良質のケアを提供する際に利用する道具の1つに過ぎず、大切な視点はその道具をケアにどのように生かすかという理念だということです。

ますます加速してくる高齢化社会ですが、福祉用具も上手く導入していきながら、患者さま一人ひとりが安心して生活できる世の中にしていくことが明日の高齢者である私たちにとっても住みよい社会となるのだということを念頭に、地域でも「ノーリフト～持ち上げない看護・抱えあげない介護～」をぜひ広めていきたいものです。日本中で講演されている保田先生ですが、どこの職場でも「時間がない」「（福祉用具を買う）お金がない」という意見が聞かれるそうです。しかし、なにも行動を起こさなければお互いに不自由なままです。まずはひとりひとりが出来ることから始めてみてはどうでしょうか。



その他の研修

◎院内研修

- 7月 医療倫理
- 8月 褥瘡について
データ提出加算
- 9月 外科の基礎知識
防災防火
転倒転落

◎宿泊研修

- 7月18、19日 管理者研修会
- 8月22、23日 階層別宿泊研修
- 9月12、13日 階層別宿泊研修

◎新人フォローアップ研修

- 7月25日
第1回新人フォローアップ研修

葛藤（コンフリクト）について

臨床心理室

同時に複数の選択肢があり、それらが矛盾した内容を示すとき、私たちは葛藤している状態に陥ります。この葛藤を、コンフリクトといいます。

◎葛藤のパターン

葛藤状態には4つのパターンがあります。

1. 接近(+)-接近(+)-型

どちらも好ましものであるが、同時には手に入れられないとき

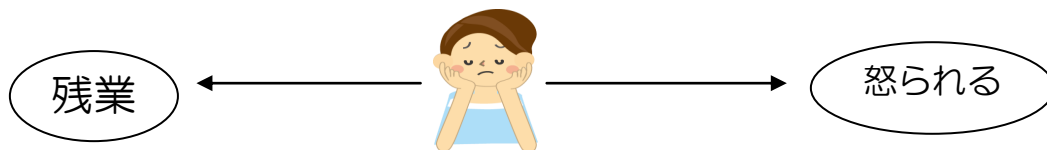
例) 映画に行きたいけど、ドライブにも行きたい



2. 回避(-)-回避(-)-型

どちらも避けたいことだが、どちらかは必ず選ばなければならないとき

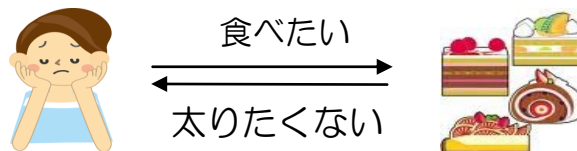
例) 残業はしたくないけど、終わらないと上司に怒られる。



3. 接近(+)-回避(-)-型①

好ましい選択肢を選ぶと、結果、好ましくない選択肢も同時についてくるとき

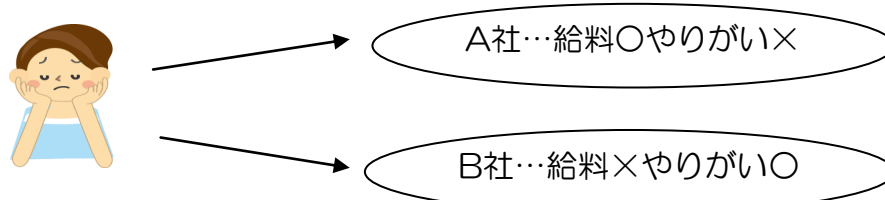
例) ケーキを食べたいけれど、太りたくない。



4. 接近(+)-回避(-)-型②

2つ以上の選択肢の中に、+と-の面が両方あるような場合。

例) A社は給料がいいが、やりがいがない、B社は給料は悪いが、やりがいがある。



私たちはしばしば、このような状態にさらされており、心理的な負担にもなっています。このような負担が飽和状態になる前に、自分の状態に気づけることが大切です。

彩り良く野菜を食べて生活習慣病を予防しましょう！



栄養室

近年、さらに増加傾向にあるのが、脳卒中・高血圧・糖尿病などの生活習慣病です。その生活習慣病の予防には、まず、食生活の見直しが大切となります。そこで今回は、生活習慣病を予防するうえでの野菜が果たす役割や、野菜を効率的にとる方法をご紹介します。

◎不足しがちな、ビタミン・ミネラル・食物繊維などの栄養素が豊富

野菜には、ビタミンC・カルシウム・カリウム・食物繊維など、体調を整え、生活習慣病を予防する「栄養素」が豊富に含まれています。また、野菜は脂肪分をほとんど含まず「低エネルギー」なので、肥満や糖尿病の予防にも役立ちます。

栄養素の目標量を満たすために必要な野菜の量
＝ 1日350g以上とされています！

◎野菜の彩に含まれた「機能性成分」で健康長寿

野菜には、炭水化物・たんぱく質・脂質・ビタミン・ミネラルの5大栄養素および食物繊維とは異なる「機能性成分（フィトケミカル）」が多く含まれています。機能性成分は、主に野菜や果物に含まれる色素・辛味・香りの成分であり、強い抗酸化作用などが、生活習慣病の予防につながります。野菜の、目に鮮やかな「7つの彩り」に含まれた機能性成分は、QOL（生活の質）を高め、健康長寿に貢献する大きな可能性をもっています。

< “7つの彩り” に含まれる、健康に役立つ機能性成分 >

色	主な野菜	代表的な成分	期待される主な効果・効能
赤系	トマト、金時にんじん	リコピン	抗酸化作用、動脈硬化予防
	パプリカ、とうがらし	カプサンチン	抗酸化作用、動脈硬化予防
橙系	かぼちゃ、にんじん	プロビタミンA	抗酸化作用
黄系	たまねぎ、レモン	フラボノイド	抗酸化作用、高血圧予防
	とうもろこし、ゴールドキイ	ルテイン	抗酸化作用
緑系	ほうれんそう、ブロッコリー	クロロフィル	抗酸化作用、コレステロール調整
紫系	なす、赤しそ	アントシアニン	抗酸化作用、加齢による視力低下
黒系	ごぼう、じゃがいも	クロロゲン酸	血圧調整、血糖調整
	緑茶	カテキン	抗酸化作用、コレステロール調整
白系	だいこん、キャベツ ねぎ、にんにく	イソチオシアネート 硫化アリル	抗酸化作用、ピロリ菌対策 抗酸化作用、抗菌効果

◎野菜を1日350gとるために、毎日心がけておきたいこと

1皿70g×5

①簡単に食べられる野菜を常備

レタス、きゅうり、プチトマトなど、簡単に食べられる野菜を常備しておけば、食事のとき、その野菜と一緒に食べることができます。

②簡単野菜スープで、しっかり朝食

にんじん、だいこん、じゃがいも、たまねぎなどを、ざく切りにした簡単スープも便利です。前夜に切っておけば、あわただしい朝の手間も省けます。

③野菜の栄養価を減らさないコツ

茹でる：野菜の組織が軟化し消化吸收しやすくなります。また、かさが減るため生野菜の何倍も食べられます。

炒める：ビタミンには水溶性と脂溶性の2種類があります。両方の特性を生かすには「野菜炒め」がお勧め。

④和食をメニューの中心に

和食は、もともと一汁三菜の、栄養バランスのとれた食事です。和食をメニューの中心にして、野菜の豊富な副菜を忘れず、ときには副菜をもう1品プラスしましょう。

軟膏の使い方

薬局

軟膏の塗り方、お薬によって違うことをご存知ですか？薬局で「擦り込まないでください」と説明されるお薬もあります。擦り込むもの、そうではないもの、またその方法等をご説明します。

塗布： 擦り込まない塗り方

多くの軟膏やクリームは擦り込まず、優しく伸ばして塗ります。

塗擦： 擦り込む塗り方

スキンケアに使用する保湿剤や、筋肉痛に使用する消炎鎮痛剤に多い塗り方で、擦り込むように塗る方法です。あまり強く擦り込むと皮膚を傷つけてしまうので、優しく繰り返し擦り込むようにしましょう。



軟膏をぬるときは
①手をきれいに
②やさしく塗る

塗り方	塗布	塗布又は塗擦	塗擦
薬剤名	アズノール軟膏 ヘパリンZ ユベラ軟膏 ゲンタシン軟膏 アラセナA軟膏 アスタットクリーム アトラント軟膏 ステロイドの軟膏	レスタミン オイラックスクリーム テラ・コートリル軟膏 テラマイシン軟膏	ヒルドイドソフト軟膏 ロキシニンゲル

お薬の働きは、受け取る際ご確認ください

軟膏の注意点

○生剤の軟膏

（ゲンタシン軟膏、ルリクールVG軟膏）

抗生物質の軟膏も、長期間使い続けることで菌が耐性（お薬に耐えられるようになること）になったり、通常は大人しくしている菌が暴れだしたりすることがあります。症状が改善したら、だらだらと使い続けることはやめましょう。

○ステロイドの軟膏

（ロコイド、キンダベート、リンデロンDP、ルリクールVG、アルゾナ）

ステロイドの強い軟膏を長期間使い続けると、皮膚が薄くなったり、血管が浮き上がって見えるようになることがあります。

ステロイドの大きな副作用には、抵抗力を落とすというのがあり、顔などに塗り続けることで、にきびやヘルペスがでやすくなるということもあります。

他に、皮膚の色が変わる・多毛などの副作用があります。



これも塗り薬の副作用です!!

ステロイドを長期間使用することでざ瘡が悪化した例

塗り薬もお薬です。
使い方を間違えると副作用がでやすくなってしまいます。
お薬で大切なこと
必要な時に 必要なだけ
だらだら使い続けるのはダメ!!

正しい食事姿勢について

総合リハビリテーションセンター

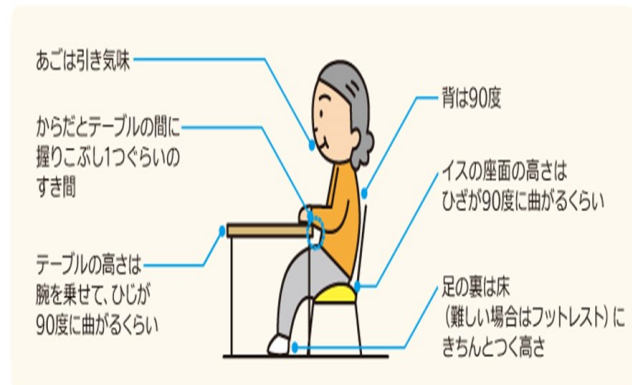
◎食事と姿勢の関係…

食事の際には、楽でおいしく安全に食べられる姿勢を整えることが大切です。あごを上げた姿勢は、口からのどに流れ込みやすいため、誤嚥の危険性が高くなります。また、飲み込む機能が落ちてくると、飲み込んだ後にのどに食べ物残り、食事から時間がたって誤嚥してしまう恐れもあります。

誤嚥しにくい姿勢で召し上がっていただくことで、誤嚥の危険の少ない、より安全な食事に繋がります。

◎正しい姿勢6つのポイント！

- ①あごは引き気味
- ②背は90度
- ③足の裏は床にきちんとつく高さ
- ④体とテーブルの間に
握りこぶし1つぐらいのすき間
- ⑤椅子の座面の高さは
ひざが90度に曲がるくらい
- ⑥テーブルの高さは
腕を乗せて、ひじが90度に曲がるくらい



◎食事介助のポイント！

- ①介助者は横に座り、目線を同じにする
- ②飲み込んだのを確認してから、次の一口を運ぶ
- ③一口量の目安はティースプーン1杯くらい
- ④箸やスプーンは下から口に運ぶ
- ⑤食事に専念する環境をつくる



介助者は横に座り、目線を同じにする。



飲み込んだのを確認してから、次の一口を運ぶ。



一口量の目安はティースプーン1杯くらい。



はしやスプーンは下からお口に運ぶ。
※自然にあごを引き、良い姿勢になります。



お食事に専念する環境をつくる。テレビを消す、カーテンを引く、静かな空間をつくる、など。

×これでは食べづらい！

立ったまま食事を介助したり、箸やスプーンを上から運んだりすると、介助される方が上を向いてしまうため、むせたり、食べ物が入って気道に入ったりする原因となります。

訪問活動について

地域医療連携センター

地域医療連携センターでは、病院と地域を結ぶ連携・調整の窓口として、医療、看護、介護サービスが切れ目なく提供できるよう日々活動を行なっております。今回は、地域医療連携センターの活動内容の一つである「訪問活動」について説明いたします。

◎訪問活動の目的

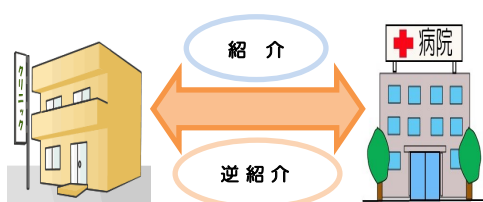
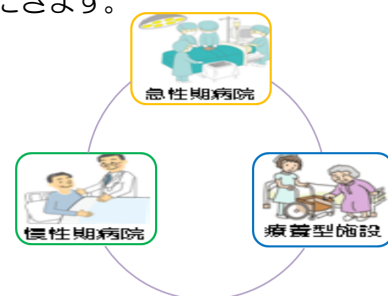
①情報収集 … 在宅サービスや施設サービス等の介護サービス事業者を訪問し、ご利用状況やお受入基準等の聞き取りを行い、患者様・ご家族の皆様への退院支援がスムーズに行えるよう情報集約を行なっています。

②ご紹介いただいた患者様への面会、紹介先医療機関でのご家族との面談 … 当院では、医療ソーシャルワーカーや退院調整看護師が、ご紹介頂いている患者様への面会を行い、療養の継続がスムーズにできるように準備を行ないます。また、入院前面談について、ご家族が当院へお越しにならない場合は、ご入院中の医療機関へお伺いして面談をさせていただきます。

③病病・病診連携

※病病連携とは

医療機関は、病院の機能により、急性期病院、慢性期病院、療養型施設等に分類され、病状に応じた医療が行われます。各病院間では日頃から連携を図りながら、患者様の病状に応じた適切な医療が受けられるようになっています。このような病院間の連携のことを病病連携といいます。



※病診連携とは

医療機関には、患者様が日頃かかっておられる「かかりつけ医」がいる診療所と、「専門医」がいる総合病院があります。お近くのかかりつけ医から、精密な検査や入院の必要な病気が見つかった場合は、病院への紹介が行われます。また、入院治療が必要でなくなった場合は病院からかかりつけ医へ再度紹介いたします。このような病院と診療所との連携のことを病診連携といいます。



医療・介護の現場は大きく変化しています！

地域の様々な医療機関を訪問し、情報交換や広報活動を行いながら、顔の見える連携を大切にしています。また、ご紹介頂いた患者様の入院経過や退院報告を行い、円滑な医療連携を図る為の活動を行なっています。

このように、地域医療連携センターでは、業務の一環として訪問活動を行ないながら、外来患者さま・入院患者さまに安心して療養していただき、地域でも暮らせるようサポートさせていただいております。地域の方々や機関の事業所等のニーズを把握し、サービスの向上に努めていきたいと思っています。

当院では、入院された患者さまの疾病、障害に対して十分な医療技術を提供し、かつ医療の効率化に取り組んでいます。病状の安定された患者さまの場合、退院について患者さま・ご家族さまと話し合い、今後の転帰先(在宅や施設など)について協議させていただきます。ご協力をお願いいたします。在宅サービス等についていつでも地域医療連携センターにご相談下さい。

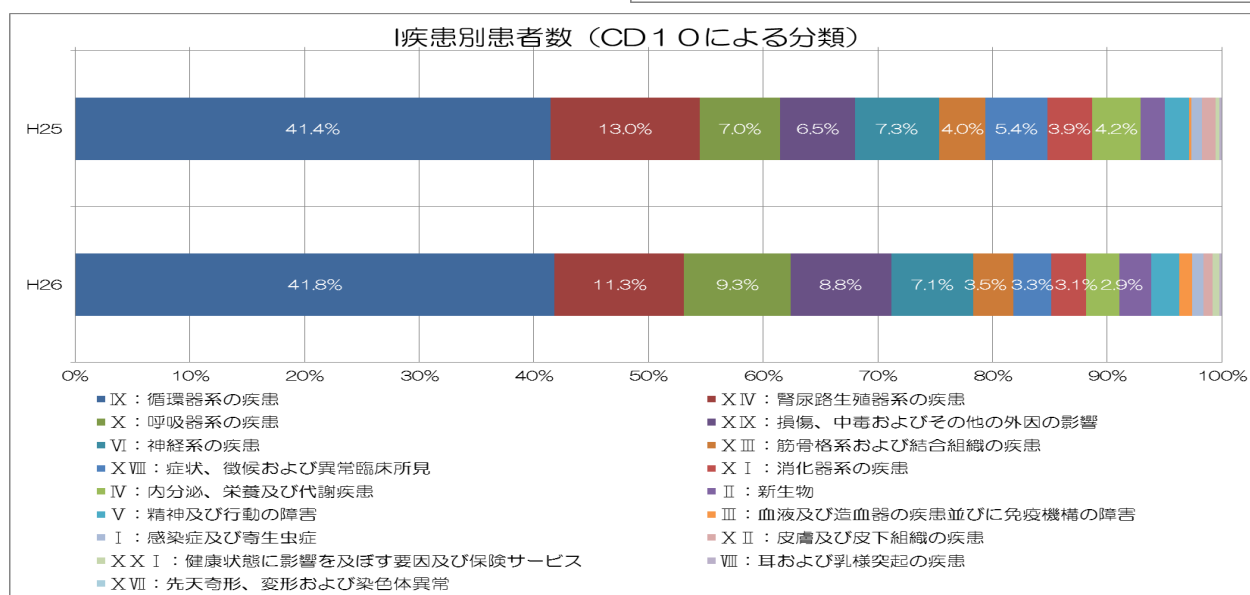
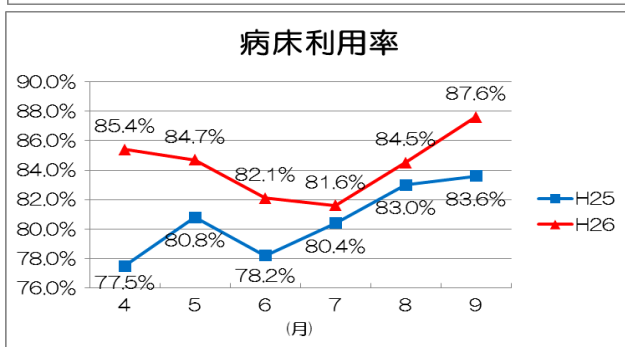
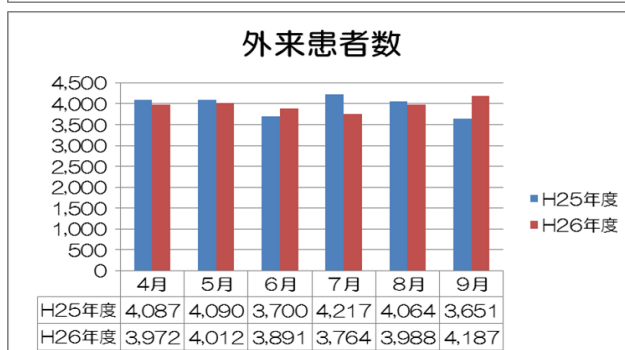
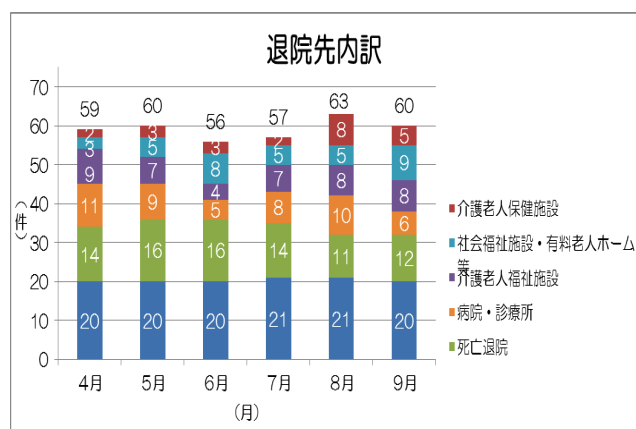
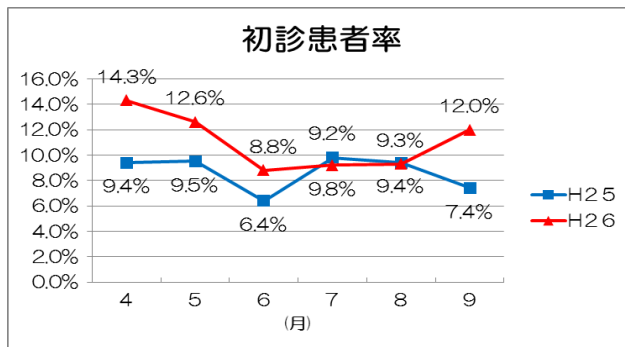
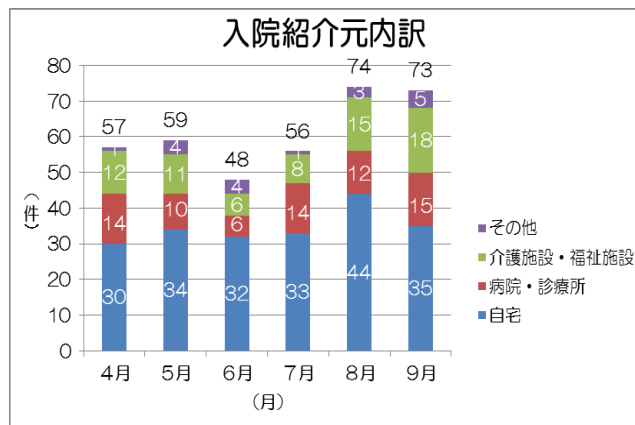


地域医療連携センターは

◆毎日 午前8:30～午後5:30

◆地域医療連携センターにおいでになれない場合は、お部屋にもお伺いいたします。

診療実績報告（H26年上半期）



～平成26年患者動向・慢性期クリニカルインディケータより抜粋～

個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。

個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。

4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

5. 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

6. 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

7. 問い合わせ窓口

個人情報に関する問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください。

個人情報保護相談窓口：地域医療連携センター

●診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供（診療内容の説明）及び開示（カルテ開示）についてお申し出があった際は速やかに対応させていただくシステムになっておりますが、提供・開示の際に必要な条件書類等がございます。

～診療情報の提供及び開示の条件・必要書類・申請方法～

担当の窓口にて対応させていただきます。

御遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

●セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得して頂き、患者さまが主体的に治療を受けて頂く為に、第三者である他医療機関の医師の診療を受けることについてはそれに応じさせていただいております。同じく他医療機関を受診されている患者さま・ご家族についても対応させて頂いております。詳しくは地域医療連携センターまでお尋ね下さい。

※セカンドオピニオンとは、...

セカンドオピニオン＝第2の意見。主治医以外の医師の意見。

氷山の一角（意見箱より）



患者さま・ご家族様からのご意見・ご要望に関する回答

▼ 血液検査の項目に数字のないのが多い。

→大変申し訳ございません。具体的な状況が分かりませんが採血項目に数字がないのは、医師が必要な検査項目にのみチェックをして検査に出しているためです。採血項目は医師が患者様の病状に応じてチェックをしております。検査結果に数字がなく疑問に感じられたということですが、その他のことも含めて、診察の前後にはご本人・ご家族に看護師が不明な点や聞きたい事等がないかを随時確認していく体制を整えていきたいと思っております。

ご意見箱は、外来と各階食堂談話室並びに腎センターへ設置してあります。患者さま・ご家族様より頂きましたご意見に対して、当院では毎月開催しております「サービス向上委員会」にて検討し、改善策を導き出して対応させて頂いております。皆様からのご意見を今後ともよろしくお願い申し上げます。

✿編集後記✿

広報誌をご覧くださいありがとうございます。日毎に秋も深まってまいりましたが、皆さまはスポーツの秋、食欲の秋、行楽の秋、どのような秋を過ごされる予定でしょうか。私は、いつか読もう…！と思っていた本に手をつけ、秋の夜長を“読書の秋”で楽しみたいと思います。皆さまも思い思いの秋をお楽しみ下さいませ。

（編集委員 西川）

※本掲載分の個人名・団体名につきましては個人情報保護法に基づき、本人またはご家族の同意を得て掲載されております。



医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

〒899-5241

始良市加治木町木田4714

TEL 0995-62-0001（代）

FAX 0995-62-3778

URL <http://www.gyokushoukai.com/>

診療科目

- 内科（人工透析含む） ●消化器科 ●泌尿器科
- 耳鼻咽喉科 ●リハビリテーション科 ●歯科

